

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

「葭原滋男さんによる講演・
ブラインドサッカーの体験」
相生小学校での開催 について



公立大学法人

静岡文化芸術大学

令和2年11月10日

静岡文化芸術大学 地域連携室

【電話】(053)457-6105

浜松市からの委託を受けて、オリパラ教育浜松市内大学連携協議会（静岡文化芸術大学を含む市内5大学で構成）が主催する「オリパラ教育」を実施します。

この事業は、東京オリンピック・パラリンピック大会への機運を高め、子供たちがスポーツの価値や共生社会への理解を深めることを目的に、2019年から市内各小中学校を中心に展開している事業です。ぜひ取材をよろしくお願ひします。

葭原さんによる当事業は市内では3校目となります。(9/29 八幡中、10/26 砂丘小で実践済)
記

日時： 令和2年11月16日（月） 9：15～12：00

（講演 9:15～9:55、体験 2グループに分けて実施 10:10～11:00、11:10～12:00）

場所： 浜松市立相生小学校（中区向宿3-8-1）

講師： 葭原 滋男（よしはら しげお）さん

【現所属】参天製薬株式会社 インクルージョン推進リーダー

【主な経歴】パラリンピック 視覚障害部門 陸上競技・自転車競技メダリスト
ブラインドサッカー元日本代表

参加者： **葭原滋男さんによる講演** 相生小学校 各教室 4、5、6年生（計287人）

及び内容 講師がいる校舎内の一室と児童がいる各教室をモニターで結ぶオンライン形式。
クイズの出題や事前に寄せられた質問への回答、5mほど離れた的へボールを蹴って当てる葭原さんによるデモンストレーションなどを学校内のオンライン通信を活用した新たな試みとして実践するもの。

ブラインドサッカーの体験 同 体育館 4年生（計105人）

体育館へ移動しての実践。アイマスクを着用した状態で、①歩くこと、②走ること、③競争形式で的に向かってボールを蹴ることを行う。

学習の狙い： 自身の生い立ち、障害者スポーツに魅了された経験談を通じて、「チャレンジ精神」、「諦めない気持ち」、「人とのコミュニケーションの大切さ」を小学生へのメッセージとして伝える。

ブラインドサッカー体験では、相手の立場に立ってどのように声をかけるべきかを感じ取ってもらい、ひいてはチームワークの育成につなげる。

備考：ブラインドサッカーとは

ゴールキーパー以外が全盲の選手で、アイマスクを装着し、音の出るボールを用いてプレーする5人制サッカー。いわゆる「見えないサッカー」。

葭原滋男（よしはら しげお）さん プロフィール

東京都生まれ。22歳で視覚障害の認定を受ける。パラリンピック大会では、陸上競技の走り高跳びにおいて、1992年バルセロナ大会で4位入賞、96年アトランタ大会で銅メダル。自転車競技において、2000年シドニー大会で金メダル1個、銀メダル1個。04年アテネ大会で銀メダル。

その後、ブラインドサッカー日本代表に07年に選出、09年アジア選手権大会でハットトリック達成。現在57歳。

【問合せ先】 静岡文化芸術大学

担当教員：小浜朋子 本学デザイン学部教授（研究テーマ：ユニバーサルデザイン）

担当部署：地域連携室 宮野、岡田 Tel.053-457-6105

公立大学法人静岡文化芸術大学